

T細胞レセプター β鎖Cβ1再構成



T-cell receptor beta chain C beta 1

基本情報

JLAC10	分析物	8C652	TRB C beta 1	JLAC11 (暫定案)	測定物	G4370	T細胞受容体β鎖Cb1
	識別	9931			識別		
	材料	019	全血(添加物入り)		材料		
	測定法	831			測定法		
診療報酬	第2章 特掲診療料		第3部 検査(1)		第1節 検体検査料		
	0						
	D006	遺伝病的検査					
	6	免疫関連遺伝子再構成		2429			
	0						

検査オーダー・検体採取

患者同意に対する 要求事項							
検査結果に影響を 与える検査情報							
オーダーボタン							
検査予約							
至急オーダー							
時間外オーダー							
検査予約・オーダー							
患者の検査前準備							
検体採取のタイミング							
記号	添加物(キャップ色等)・ 採取容器	採取材料	採取量	測定材料	検体ラベル(単項目オーダー時)		
272	EDT7 (7m1)	血液	7.00	血液 (EDTA-2Na加)	31-9001	1 / 1	[1]
					イダイ タロウ	S	
					00001-2345-6	**** 272 ****	
					272	EDT7 (7m1)	7.00 mL
					紫		血液
採取容器について							
検体採取について							
検体搬送について							
病棟での検体保存方法							
再検査・追加検査の対応可能日数							
検査不可検体について							

9752

0

2020/6/1

T細胞レセプター β鎖Cβ1再構成



T-cell receptor beta chain C beta 1

検査結果報告

測定機器	電気泳動槽 (Horizon 11.14)
検査所要日数	11~13
検査部門	外部委託 [SRL]

血液/骨髄液/細胞：凍結保存は避けてください。依頼書に臨床診断名などをご記入ください。細胞は、院内でご使用の培養容器(培養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵保存にてご提出ください。ホルマリンなどにより固定した組織は、高分子DNAが得られないため、サザンブロットハイブリダイゼーションによる解析は不可能です。

基準値

期間	基準値設定材料	全血(添加物入り)	
測定方法	ELISA		
項目	男性	女性	単位
1 T細胞レセプター β鎖Cβ1再構成	遺伝子再構成を認めず	遺伝子再構成を認めず	なし

緊急異常値

電話連絡・苦情対応

T細胞レセプター β鎖Cβ1再構成



T-cell receptor beta chain C beta 1

臨床情報

臨床的意義

T細胞においてもB細胞と同様に分化過程においてTCR遺伝子の再構成が見られる。〈BR〉TCR遺伝子は現在α, β, γ, δの4鎖が知られているが, TCRβ鎖遺伝子も免疫グロブリン遺伝子と同様にV, D, Jの各領域遺伝子から成り, D-J連結ついでV-DJ連結の順に再構成が生じる。Γ鎖遺伝子可変部は, V, J領域遺伝子から成っていて, これらの遺伝子はT細胞の分化, 特に胸腺内での分化の過程で遺伝子再構成を行い, γ鎖とδ鎖遺伝子はα鎖とβ鎖遺伝子に先立ち再構成され, それぞれ複合体を形成しT細胞レセプターとして発現される。〈BR〉TCRβ鎖遺伝子は第7染色体長腕(7q32または7q35)に, TCRα鎖遺伝子は第14染色体長腕(14q11.2)に, TCRγ鎖遺伝子は第7染色体短腕(7q15)に, TCRδ鎖遺伝子は第14染色体長腕(14q11.2)に座位し, TCR遺伝子も免疫グロブリンと同様にTCRδ鎖→TCRγ鎖→TCRβ鎖→TCRα鎖のハイアキーが存在すると考えられるため, TCR遺伝子の再構成パターンを調べることにより, T細胞の分化過程の一部を知ることができる。またリンパ球表面マーカーなどの表現型による分類が困難な場合に有用な検査である。

異常値を示す病態・疾患

関連項目

参考文献

変更履歴

2016年4月1日	平成28年4月診療報酬改定
2018年4月1日	平成30年4月診療報酬改定
2019年6月1日	電子カルテ更新に伴う依頼手順変更改定
2020年6月1日	令和2年4月診療報酬改定

URL <http://test-guide.srl.info/hachioji/>